

思い（1）－一人ひとり、ファミリー、集団。人類の特徴－

現代の私達人間は、社会制度、技術、経済に囲まれて豊かな生活をしていますが、それは約1万年前の農耕の発明からのことであって、この1万年の間に人類の特徴を獲得したのではありません。人類の特徴は、生命の誕生から農耕の発明までの長い時間の中で獲得されたもので、現代の私たちに引き継がれているものと考えられています。例えば脳機能の進化は直立二足歩行によってもたらされた（故瀬川昌也先生）。

ファミリー（家族）は人類の特徴の一つです（山極寿一「人間性の起源を探求する重要性」Anthropol. Sci. (J-Ser.) Vol. 122, 2014）。わがままがいえるファミリーとわがままは通じない相互関係の集団からなる重層構造を持つことが特徴とされています。したがって、「三人寄れば文殊の知恵」方式で現代の私たちがファミリーと集団を使い分けしながら一人ひとりの生活課題を解決していくことは、理に適っているといえると考えています。

なお、政府も企業も、あるいはお金も、農耕の発明以降の私達の祖先が、自らが起点となって自分たちの生活のために発明したものに違いありません。ですが今、政府や企業が起点となる発信が多くを占めているように思われます。ここで、本来の趣旨に戻り、主役は私達人間であるはずですので、ファミリーや集団と共に私達一人ひとりが起点となって政府・企業に対して発信し、政府・企業から情報やモノ・サービスを得て自らの生活課題解決を図っていく仕組みづくりが重要だと考えています。